



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

# 岡放技ニュース

2026.3 No. 347

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201  
TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515  
MAIL: [oart@oart.jp](mailto:oart@oart.jp)

Okayama Association of Radiological Technologists Since November 21th 1951 URL:<http://www.oart.jp>

発行責任者 高尾 渉 編集者 編集委員会

## 会告

### 第162回 岡放技セミナー開催案内

主 催 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

日 時 : 2026年6月14日(日) 時間未定

場 所 : 岡山旭東病院 1F パッチアダムスホール

開催方法 : 集会およびwebinar (参加方法等の詳細は、岡山県診療放射線技師会ホームページ <http://www.oart.jp/> を参照ください)

参加費 : 会員・学生は無料 非会員 2,000 円

お申込み : 岡山県診療放射線技師会ホームページ事前参加申請フォームよりお申し込み下さい

- \* 岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます
- \* オンラインにつきましては何かしらの通信障害が発生する可能性がありますことをご了承ください

#### — プログラム —

未定 ※詳細は4月号にて掲載予定



お知らせ

## 【令和8年度 岡山県診療放射線技師会

### 学術研究助成 募集要項】

- 申 込 資 格 : 応募締切日に 40 歳以下の岡山県診療放射線技師会会員
- 助 成 金 使 途 : 当該研究に係る資材調達の他に学会等の参加経費(旅費・滞在費・参加費・発表資料作成費等)として助成する。
- 助 成 金 額 : 一口 10 万円
- 応 募 方 法 : 当会ホームページから申請書をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で当会事務局(福利厚生委員会 宛)へ提出する。
- 応 募 期 間 : 令和 8 年 4 月 15 日～ 6 月 30 日
- 審 査 方 法 : 当会の選考委員による審査の上、所定の手続きを経て決定
- 採 否 の 通 知 : 8 月下旬ごろに申請者に通知
- 助 成 金 支 給 : 本人又は所属機関等の銀行口座に振り込む。
- 会 議 報 告 : 助成金交付対象者に選出されたものは、交付決定より 1 年以内に関連学会における成果報告並びに、岡山県診療放射線技師会会誌へ研究成果の要旨の投稿が義務付けられる。またセミナーや研修会にて成果報告を行う。
- 報 告 書 提 出 : 会議報告後 1 ヶ月以内を目途に所定書式で提出する。
- 情 報 公 開 : 助成が決定した場合、氏名、所属機関、職名、参加学会名、演題等を当会ホームページ等により公開する。提出いただいた報告書は、当会会誌(冊子体、例年 2 月頃発刊予定)に掲載する。
- 申 請 書 郵 送 先 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会 事務局 福利厚生委員会 宛  
〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

※ご不明な点等については事務局までお問い合わせください。



## 2026年度 OT3 コラボセミナー講演会 開催のお知らせ

組織委員長 角場 幸記



会場 : 岡山済生会総合病院 4F さいゆうホール

日時 : 2026年5月30日(土)14:30~

テーマ : 「我々が思い描く未来予想図」

\*テーマを基に

岡山県臨床検査技師会、  
岡山県診療放射線技師会、  
岡山県臨床工学技士会より、各1名ずつ  
講演を実施予定。  
各会の講師・タイトルは未定。



## 「乳がんから女性をまもろう」乳がん検診啓発活動・ 一般公開講座 開催のお知らせ

組織委員長 角場 幸記



会場 : 岡山ふれあいセンター  
『第6回なかまちーずフェスティバル』

日時 : 2026年5月31日(日)  
10:00~15:00頃(予定)

ブース : 「乳がん検診相談コーナー」、「被ばく相談」、  
「医療画像クイズ大会」など。

講演を予定していますが、内容・講師は未定。

## 報告

## 法人設立 40 周年・創立 75 周年を迎えて

岡山県診療放射線技師会 会長 高尾 渉

公益社団法人岡山県診療放射線技師会法人設立 40 周年・創立 75 周年記念式典を挙げるにあたり、公私ご多忙のところ多数の皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

本会は、昭和 26 年 11 月 26 日に岡山県エックス線技師会として設立されました。その後、幾多の変遷を経て、昭和 43 年には診療エックス線技師法の一部改正により岡山県放射線技師会へと名称を改め、昭和 58 年には職種の本格化が達成されました。さらに昭和 60 年 11 月には、諸先輩方の多大なるご尽力と関係団体の皆様のご支援により法人格を取得し、社団法人岡山県放射線技師会として新たな歩みを開始いたしました。また、平成 5 年には診療放射線技師法の一部改正がなされ、磁気共鳴画像診断装置、超音波診断装置、眼底写真撮影装置など、放射線以外のモダリティが業務の範疇に加えられるとともに、チーム医療の一員としての位置づけが明文化されました。医療は患者本位で行われるべきものであり、昭和 52 年より「思いやり」運動を実践してきた私ども診療放射線技師も、専門職としての責任を再認識し、他の医療関係者との緊密な連携のもと、チーム医療の一翼を担うべく、会員一人ひとりのさらなる努力が求められています。さらに平成 17 年には、重粒子線が放射線技師法に明記され、粒子線治療が法的に位置づけられ、医療に用いられるすべての放射線が同法のもとで認可されました。これは、安全で安心な医療が強く求められる中、私どもに大きな責務が託されたことを意味するものであり、県民の期待に的確に応えられるよう、今後も邁進してまいります。

本会は現在、会員数 700 名を数え、全国で 11 番目の規模を有する会へと成長してまいりました。平成 13 年には全国から 3,000 名を超える参加者を迎え、総合学術大会を開催いたしました。平成 17 年には、日本放射線技術学会中国・四国部会との共同開催により、第 1 回中四国放射線医療技術フォーラムを倉敷において開催し、両会員が一丸となって 1,000 名を超える参加者を集め、大会を成功させることができました。さらに令和 6 年には、第 20 回中四国放射線医療技術フォーラムを岡山で開催し、700 名を超える参加者を迎え、盛会のうちに終えることができました。

これらの大会を契機として開始した公開セミナーや無料検診活動による「乳がんから女性を守ろう」キャンペーン、臨床検査技師会・臨床工学技士会との合同による OT3 活動『病院ごっこ』などの取り組みは、徐々に県民の皆様に浸透しつつあります。また、肺がん部会セミナーにおいては、県保健福祉部のご支援のもと、会員が施設認定基準となるセミナーに参加し、県内医療の質の向上に努めてまいりました。昨今、医師の働き方改革に伴い、造影剤の静脈注射、静脈路確保、抜針、チューブの挿入などの業務、さらには IVR における操作補助など、診療放射線技師の業務は拡大しております。これらの活動が継続できましたのも、ひとえに本日もご列席の皆様方のご支援とご厚情の賜物であり、心より感謝申し上げます。

私ども会員一同は、法人設立 40 周年・創立 75 周年という節目を迎えるにあたり、改めて心を引き締め、なお一層の研鑽を重ね、県民の保健医療の維持・発展に尽くしてまいりたい所存でございます。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

令和 8 年 2 月 7 日

公益社団法人岡山県診療放射線技師会  
会長 高尾 渉

# 記念講演

## 記念講演 1 「診療放射線技師の現状と未来に向けて」



一般社団法人日本病院経営支援機構  
放射線科技師長育成塾  
塾長 熊代 正行 先生



座長 吉田 勝 副会長

## 記念講演 2 「医療技術職の安定した雇用を守るために」 ～地域連携とメディカルシルバー人材～



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構  
倉敷中央病院医療技術本部長 田渕 隆先生



座長 : 高尾 涉 会長



会場の様子

## 記念式典 会長挨拶



(公社)岡山県診療放射線技師会  
会長 高尾 渉

## 来賓祝辞



参議院議員 小林 孝一郎 様



岡山県保健医療部 部長 辰巳 秀爾 様



岡山県医師会 会長 松山 正春 様

## 開会の挨拶



(公社)岡山県診療放射線技師会  
副会長 光井 英樹

## 閉会の挨拶



(公社)岡山県診療放射線技師会  
副会長 吉田 勝



挨拶の様子



会場の様子

### 岡山県診療放射線技師会 会長表彰



赤木 憲明 様

### 岡山県診療放射線技師会 功労賞



近藤 義昭 様



井上 龍也 様



沖 和満 様



三宅 講二 様

### 岡山県診療放射線技師会 奨励賞



奥田 圭一 様



杉本 昂平 様



息 容代 様

## 岡山県診療放射線技師会 感謝状



賛助会員 代表 富士フイルムメディカル株式会社 岡山営業所

## 祝賀会



公益社団法人 日本診療放射線技師会理事  
公益社団法人 広島県診療放射線技師会会長  
木口 雅夫 様



岡山県病院協会  
顧問 土井 章弘 様



岡山県診療放射線技師会  
名誉会員 山本 一雄 様



岡山県看護協会 会長  
二宮 一枝 様



岡山県臨床検査技師会 会長  
藤岡 克徳 様



岡山県臨床工学技士会 会長  
小野 淳一 様



岡山大学医学部保健学科  
放射線技術学専攻長 中村 隆夫 様

### 開会の挨拶



高尾 会長

### 閉会の挨拶



光井 副会長



会場の様子

企画

## Imaging linked to blood cancers in children and adolescents

小児および青年の血液がんに関する画像診断



[https://www.auntminnie.com/clinical-news/ct/article/15755717/imaging-linked-to-blood-cancers-in-children-and-adolescents?since=1758258000000&braz\\_e\\_int\\_id=644d82e24049c10001f1c0f8&braz\\_e\\_ext\\_id=643033a319ef38833c607279](https://www.auntminnie.com/clinical-news/ct/article/15755717/imaging-linked-to-blood-cancers-in-children-and-adolescents?since=1758258000000&braz_e_int_id=644d82e24049c10001f1c0f8&braz_e_ext_id=643033a319ef38833c607279)

9月17日にニューイングランドジャーナルオブメディシン誌に掲載された研究によると、医療用画像診断による放射線被ばくは小児および青少年の血液がんリスクをわずかながらも大幅に増加させることに関係しているという。

この発見は、米国またはカナダのオンタリオ州で生まれた370万人の子供を対象とした遡及的分析(そきゅうてきぶんせき)によるもので、研究者らは医療画像診断が血液がんの10.1%に関連していることを示唆している。『この研究は、医療用画像診断からの電離放射線が、たとえ50ミリグレイ未満の被ばくであっても、小児の血液がんのリスク増加と関連しているという、強力で直接観察された証拠を提供している』と、共同上級著者であるカリフォルニア大学サンフランシスコ校の医学博士レベッカ・スミス＝ビンドマン氏、カリフォルニア大学デービス校保健学部のダイアナ・ミグリオレッティ博士、トロント大学のジェイソン・ポール博士は指摘した。著者らによると、国際的な研究では小児CT検査が造血器がんのリスク増加と関連付けられており、2回または3回のCT検査を受けた小児は、1回の検査を受けた小児よりもリスクが50%高くなることが示されています。しかし、北米におけるこれらのリスクに関する研究や、X線撮影、透視検査、血管造影検査、核医学検査による放射線被ばくに関する研究は不足していると著者らは指摘しています。

この知識ギャップを埋めるため、研究グループは、1996年～2016年の間に米国の6つの統合医療システムのいずれか、またはカナダのオンタリオ州で生まれた370万人以上の小児を対象とした「医療画像診断に関する小児および青年期がんリスク(RIC)」研究の結果を分析しました。小児は、がん診断、死亡、医療保険終了、または21歳になるまで追跡調査されました。研究者らは、画像診断から活性骨髄への放射線量を定量化し、連続時間ハザードモデルを用いて、6か月の遅れで血液がんと累積放射線被ばく(被ばくなしとの比較)との関連性を推定した。一人当たり平均10.1年の追跡期間中に、調査対象の8%である2,961件の血液がんが診断され、この内訳は主にリンパ系がん(2,349件【79.3%】)、骨髄系がんまたは急性白血病(460件【15.5%】)、組織球性または樹状細胞がん(129件【4.4%】)であったと著者らは報告した。1mGy以上の放射線に被ばくした小児の平均被ばく線量は全体で14.0±23.1mGy、血液がんの小児では、24.5±36.4mGyであった。比較のため、頭部CTスキャン1回分の被ばく線量は13.7mGyであったと研究グループは記している。さらに計算によると、頭部CTスキャン1～2回分に相当する15～30mGyの被ばく線量は、リスク増加の1.8倍と関連しており、50～100mGy未満の被ばく線量ではリスク増加は3.6倍にまで上昇する。研究グループの報告によると、21歳までの血液がんの過剰累積発生率は、少なくとも30mGyに被ばくした子どもでは1万人あたり25.6人、50～100mGyに被ばくした子どもでは1万人あたり40.8人だ

った。

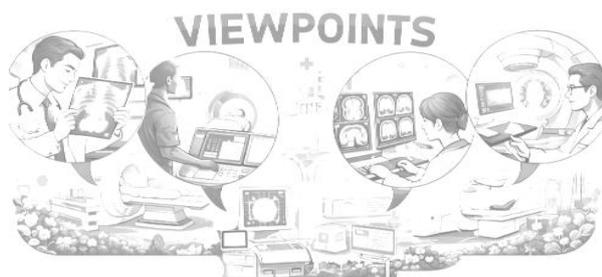
研究者らは、寄与リスクが画像検査の種類によって異なることを指摘した。例えば、頭部CT検査を受けた小児では、血液がんの 4 分の1が放射線被ばくに起因すると推定されたのに対し、骨折や肺炎などの検査でX線検査を受けた小児では、血液がんのごく一部(1%未満)が放射線に関連すると推定された。「私たちのコホートでは、血液がんの 10.1% (95%信頼区間 5.8~14.2) が医療用画像診断による放射線被ばくに起因する可能性があり、CT などの高線量医療用画像診断検査によるリスクはさらに高いと推定しました」と研究グループは記している。最終的に、この研究は小児の医療画像診断とがんリスクとの関連を示す証拠をさらに増やし、これまでの研究の主な限界に対処するものだと研究グループは記している。「CT やその他の放射線を使った画像診断技術は命を救う可能性があるが、私たちの研究結果は、子供たちの長期的な健康を守るために小児画像診断中の放射線被ばくを慎重に検討し、最小限に抑えることの重要性を強調している」と研究者らは結論付けている。

長年にわたり医療画像診断における放射線量低減を提唱してきたスミス=ビンドマン氏は、CT スキャンによる放射線に関連するがんが、最終的には年間新規症例の5%を占める可能性があるかと推定する研究を最近主導しました。

2014年にスミス=ビンドマン氏は、ニューヨークタイムズ紙に寄稿した論説で、CT検査の過剰使用が、がん発生率の上昇、さらには検査を受けた患者の死亡率の上昇につながると指摘しました。付随論説で、メリーランド州ベセスダにある国立がん研究所のリンゼイ・モートン博士は、この研究の結果により、低線量(<100mGy)の放射線被ばくに関する健康リスクについての理解が深まると述べた。この結果は「個々の患者にとって安心できるもの」であるはずだが、報告書は「急性リンパ性白血病や急性骨髄性白血病だけでなく、非ホジキンリンパ腫など他のサブタイプにも放射線関連の造血器がんリスクの恐怖を一層高めている」とモートン氏は記している。モートン氏は、放射線関連の研究と教育への長期的な戦略的支援は、引き続き最優先事項であるべきだと付け加えた。

翻訳:Google 翻訳

監修:岡山県診療放射線技師会 編集委員会 赤木耕平、学術委員会 田淵真弘



前頁の翻訳内容に関連して、川崎医療福祉大学 舛田隆則先生よりコメント原稿をいただきました。舛田先生、ありがとうございました。

### Medical Imaging and Pediatric and Adolescent Hematologic Malignancy Risk を読んで

川崎医療福祉大学 舛田隆則

小児の医療被ばくとがんリスクは、これまで主に英国・豪州・欧州の大規模研究で「小児期の CT 検査が多いほど、白血病などの血液腫瘍リスクが上がり得る」ことが示されてきました。しかし従来研究には、①北米の診療実態(検査数や運用、線量管理)が必ずしも反映されていない、②CT に焦点が当たりやすく医療画像全体(単純 X 線、透視、血管造影、核医学など)の影響を一緒に評価しにくい、③線量が「検査回数」や「文献にある代表値」に依存しやすい、④がんの前駆症状が原因で検査が増える(逆因果)の問題を完全に排しにくい、という課題がありました。

本論文の重要な点は、北米でこの課題に正面から取り組んだところです。米国 6 つの医療システムとカナダ・オンタリオ州のデータを用い、1996～2016 年出生の約 372 万人を出生から追跡して、医療画像検査による被ばくを評価しています。特に新しいのは、CT だけでなく医療画像全体を対象にし、血液腫瘍と関係が深い骨髄(active bone marrow)の吸収線量(mGy)を、個人ごとに積算して解析している点です。「何回検査したか」ではなく、「骨髄にどれくらいの線量が入ったか」でリスクを語れる設計になっています。

結果として、骨髄線量が高いほど血液腫瘍のリスクが上がる傾向が示され、例えば 30 mGy vs 0 で RR=1.76、100 mGy vs 0 で RR=3.54、線量反応としては ERR/100 mGy=2.54 と報告されています。さらに臨床的に分かりやすい指標として、30 mGy 以上の群では 21 歳までの過剰累積発生が 25.6/10,000、集団としては PAR 10.1%が医療画像被ばくと関連しうる、という「絶対リスク」「集団への影響」も示されています。

結局この論文で一番重要なのは、「北米の実データで、医療画像全体の被ばくを“骨髄線量”として個人単位で定量化し、線量が増えるほど血液腫瘍リスクが上がり得ることを、相対リスクだけでなく絶対リスク・集団影響まで含めて示した」という点です。これにより、単に「CT は注意」ではなく、不要検査の削減、適応の厳格化、線量最適化(撮影条件・プロトコル・代替モダリティの選択)が、将来的に“予防可能なリスク”を減らす可能性がある、というメッセージがより現場向きに整理されています。

最後に、従来の議論が「CT の回数」や「国ごとの結果の違い」で止まりがちだったのに対し、この研究は北米での実装を強く意識し、線量を“骨髄 mGy”に落として、さらに絶対リスクまで提示している点が非常に実務的だと感じました。今後、こうした知見を背景に、代替モダリティの選択、プロトコルの標準化、継続的な線量監査が進み、小児の医療被ばくが必要最小限に抑えられることを期待します。

お知らせ

## サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出を行っています。貸出を希望される方は、申込書をファックスかEメールで、岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は、岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは、本会事務室にて行います。

貸出使用料の請求は、本会が使用者あてに後日行います。

### サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)  
(サーベイメータは年1回の校正を行っています)
- 2 貸出料金 1週間 **33,000 円**(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000 円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい。





## お知らせ

### エックス線室の漏洩線量測定事業

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いして、エックス線撮影室の漏洩線量測定する事業を行っています。

漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

#### 測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。  
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します。

(X線装置の操作は病院様側でお願いします。これをもって病院様の立会者とさせていただきます。)

サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入りロドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

#### 測定時間

1室約30分

#### 測定料金

基本料金 **22,000 円** + 1 装置・1 管球追加毎に **11,000 円** を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

#### お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

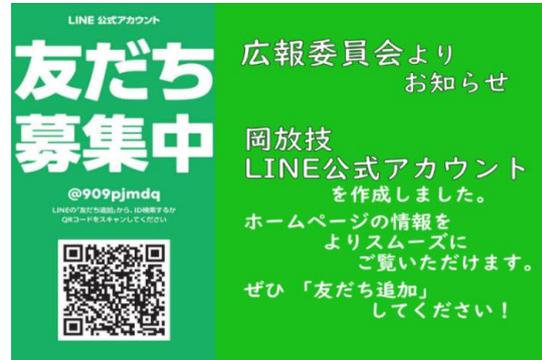
Tel 086-235-1313



## 岡山県診療放射線技師会

### 公式 LINE アカウントのお知らせ

広報委員会では会員の方のご要望にお応えし、LINE 公式アカウントを開設いたしました。  
下記 QR コードより「友だち追加」をしていただくことで、ホームページの更新情報をよりスムーズにご覧になれます。  
多数のご登録をよろしくお願いいたします。



### 「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など**変更をされた方は**、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙は、ホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。  
日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】  
(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。よろしくお願いいたします。

#### 【送り先】

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201

岡山県診療放射線技師会 事務局

FAX : 086-235-1515

Mail : [oart@oart.jp](mailto:oart@oart.jp)

#### 《追伸》

過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。  
確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願いいたします

## 令和7年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

令和8年

|      |            |     |                                 |             |                |
|------|------------|-----|---------------------------------|-------------|----------------|
| 3月   |            |     |                                 |             |                |
| 4月   |            |     |                                 |             |                |
| 5月   | 5月30日      | 土   | 第15回OT3コラボセミナー講演会               | 14:30~16:30 | 岡山済生会総合病院      |
|      | 5月31日      | 日   | 乳がんから女性をまもろう (第6回ななまちーザフェスティバル) | 10:00~15:00 | 岡山ふれあいセンター     |
| 6月   | 6月14日      | 日   | 第162回岡放技セミナー                    | 未定          | 岡山旭東病院         |
| 7月   | 7月11日      | 土   | 第163回岡放技セミナー(フレッシュズセミナー)        | 未定          | ピュアリティまきび      |
|      | 〃          | 〃   | 令和8年度 マネジメントセミナー                | 未定          | 〃              |
|      | 〃          | 〃   | 令和8年度 情報交換会                     | 未定          | パッジョ           |
| 8月   |            |     |                                 |             |                |
| 9月   | 9月11日~13日  | 金土日 | ※ 第42回日本診療放射線技師会学術大会            | 未定          | 山形ビッグウイング(山形県) |
|      | 未定         |     | 第164回岡放技セミナー (予定)               | 未定          | 未定             |
| 10月  |            |     |                                 |             |                |
| 11月  | 11月28日・29日 | 土日  | 第22回中四国放射線医療技術フォーラム             | 未定          | くにびきメッセ(島根県)   |
| 12月  |            |     |                                 |             |                |
| 令和9年 |            |     |                                 |             |                |
| 1月   | 未定         |     | 第165回岡放技セミナー (予定)               | 未定          | 未定             |
| 2月   |            |     |                                 |             |                |